

2015年度外部評価委員会の提言について(回答)

2015年度の外部評価委員会は、「情報発信力」をテーマとして実施されました。委員会から提言としていただきました評価、指摘および助言に対しまして、対応状況を報告いたします。

【大学のウェブサイトに関する検証】

外部の分析機関のユーザビリティ調査において高い評価を得ていることに対しては評価をしていただきましたが、一方で、ウェブサイトの継続的なリニューアルに対しての現状に関する検証の必要性を指摘されました。[なお、ユーザビリティ調査の評価は2014年11月にリニューアルした後に実施された2015年度(2015年6月下旬～9月中旬に調査実施)のものとなります。]

現在の大学のウェブサイトについても、Google アナリティクスを活用したサイトアクセス分析や、外部分析機関の毎年のユーザビリティ調査の結果をもとに、広報課とウェブ制作・管理会社とで定期的に検証し、改善の取り組みを行っております。大学ウェブサイトについては、今後も必要なデータを集約し、検証に取り組んでまいります。

【大学ブランドに関する客観的な検証の実施】

ブランディングプロジェクトの効果を客観的な尺度に基づいて定期的に継続して検証する体制が必要ではないかのご指摘を受けました。

実際に、ブランディングプロジェクトでは教育理念「Do for Others」の浸透に注力し、その認知度はブランディングプロジェクトの推進時には9割を超えていました。しかし、近年の学生アンケートで類似の質問をした結果によれば、認知度が下がっている可能性も指摘されています。[参考：2014～2015年度学生アンケート(対象：卒業生・卒業時・在校生)集計結果] 今後は、本学の中長期計画「MG DECADE VISION」についても、その内容を明確化し、その進捗状況を積極的に発信することで関係者への認知と理解を充実させていく所存です。

大学のブランディングの本来の目的は、明治学院大学が目指す人材育成、それを実現するための教育・研究の特色や取組みを学生、保証人、教職員、そして地域社会等のステークホルダーに認識していただくことです。しかし、これまでの本学の取組みでは「ビジュアル・アイデンティティ(VI)」に留まり、目指すべきコーポレート・アイデンティティ(CI)

に到達しておりません。これを実現するためには、大学としての方針を明確にし、それを適切な広報手段で効果的に広げていくということが必要と考えられます。現在取り組んでいる「MG DECADE VISION」を明確にし、学内外で共有していくことこそが本学のブランディングであると考えております。

さらに、ご指摘いただいたように、本学の広報方針と戦略の実効性を検証するためには、各項目の達成目標と評価指標・評価基準の設定が必要と考えております。その上で、実施している取り組みに関するデータ収集と効果測定を行い、その結果に基づいて、システムを強化・改善する必要があります。外部のブランド評価指標を活用し、本学の IR 機能とも連携し、定期的に効果検証を行うシステムの導入を検討していきます。

【ターゲットの明確化と必要な広報方針・戦略の策定】

ご指摘いただいたとおり、明治学院大学の理念に照らして、誰に対して何を伝えたいかという戦略策定は重要です。これまで、本学では、広報の戦略的ターゲットとして、主に潜在的な本学受験生を想定していました。しかし、それ以外の本学のステークホルダー（在学生、卒業生、教職員、地域等）に対しても、ターゲット別に広報目的を明確にし、広報戦略を策定していきます。その際に、今回の大学の広報方針で掲げた「ファン層」という曖昧な定義に依存する必要はないと考えています。

また、広報の大前提となる本学の活動指針・教育指針等の目標（ビジョン）については、「MG DECADE VISION」や 3 つのポリシー（DP・CP・AP）の明確化を図ることで共有していきたいと考えています。

【明治学院大学の政策と情報発信の方針の連動】

「MG DECADE VISION」に唱われている国際交流、ボランティア、キャリア支援という 3 つの重点政策や障がいを持つ学生の修学支援等、大学が力を入れている政策と情報発信の方針が連動していないという点の指摘を受けました。また、大学が進めるこうした政策について執行部が方針を統括していくことが重要であるとのことをご意見をいただきました。

2015 年度後期より、大学ウェブサイトのトップページにおいて、本学が力を入れている取り組みを明示するなど、階層の整理とコンテンツの見直しを進めております。国際交流やボランティア活動については、改修も完了し、リニューアルしたページを公開しております。現在は、「MG DECADE VISION」の 3 つの重点政策のうちの残り 1 つである、本学のキャリア教育の体制や特色を発信するためのコンテンツ改修に取り組んでおり、2017 年度に公開予定です。今後は、google アナリティクスや外部機関のデータをもとに、改修したサイトの効果測定を進めていく予定です。

また、各取り組みに関しては全学的な方針が明確になっていないものが残されています。今後「MG DECADE VISION」および 3 ポリシーの明確化とあわせて、本学が目指す将来像を明らかにしなければなりません。こうした全学的な方針策定と歩調をあわせて、必要な広

報発信を進めていきます。

【各組織の広報の統一性・標準化の担保】

本学の学部・研究科等の広報の前提となる教育研究や取り組むべき課題については、学部・研究科等ごとに策定している 3 ポリシーによって今後明確になっていくため、それに基づいて必要な広報戦略を推進します。なお、どのように全学的な広報方針や広報ビジョンを明確化し、全体的な広報効果を図り、大学をアピールするかという課題については、全学的な中期ビジョン「MG DECADE VISION」の明確化とあわせて、検討を行っていきます。その際には、すでに述べたように、広報方針・戦略、またそれに対する達成目標や評価指標・基準の設定が必要になります。

【大学院における広報活動の是正】

大学院については、各研究科の学生募集活動とも連動し、広報活動を検討していきたいと考えています。2016 年 10 月より、大学院委員会を中心とした「明治学院大学における大学院教育の位置付けと今後の展望」について検討を始めており、その進捗を見ながら広報活動に関しても検討を進めていきたいと考えています。

以上